



○ フォーマュラリの成果について(第2報)

【フォーマュラリについて】

フォーマュラリとは、「医療機関において、患者に対して最も有効・安全かつ経済的な医薬品の使用方針」とされ、欧米を中心に1990年代から導入されている医薬品マネジメントの手法です。近年、国内でも多くの施設で導入が開始されています。(フォーマュラリの詳細については、当院でも「Drug Information 第318号」にて紹介しましたので、詳細はそちらをご覧ください。)

「Drug Information 第338号」にてフォーマュラリの成果について報告しましたが、その後もフォーマュラリ検討小委員会では様々な薬効群について順次検討が行われています。今回はフォーマュラリの成果の第2報として、1. プロトンポンプ阻害剤、2. ビスホスホネート製剤、3. スタチン製剤、4. DPP-4阻害剤、5. 睡眠剤、6. ACE阻害剤、7. ARBは令和4年度までの処方量の変動^{*1}、薬価総額の変動^{*2}を、8. 抗ヒスタミン薬、9. Ca拮抗薬、10. 神経障害性疼痛治療薬、11. 高尿酸血症治療薬はフォーマュラリ導入前後の処方量の変動^{*3}、薬価総額の変動^{*2}を以下に報告します。

*1 フォーマュラリ導入前3ヶ月(①)、フォーマュラリ導入後令和3年度(R3.4-R3.6)(②)、フォーマュラリ導入後令和4年度(R4.4-R4.6)の各期間における入院および外来処方処方量(錠・Cap・包・g)を集計

*2 各期間の処方量×薬価(円)(集計期間中に薬価改定があった場合はすべて新薬価で算出)

*3 フォーマュラリ導入前3ヶ月(①)、フォーマュラリ導入後3ヶ月(それぞれ、抗ヒスタミン薬:R4.4-6、Ca拮抗薬:R4.4-6、神経障害性疼痛治療薬:R4.10-12、高尿酸血症治療薬:R4.10-12)の各期間における入院および外来処方処方量(錠・Cap・包・g)を集計

枠はフォーマュラリにおける第一推奨薬、 枠は第二推奨薬または条件付き推奨薬を表記

【開催実績】	
第1回 令和元年12月13日: HPVワクチン	第12回 令和3年7月30日: 内服抗生剤(ニューキノロン系)
第2回 令和2年2月26日: プロトンポンプ阻害剤	第13回 令和3年10月8日: 抗ヒスタミン薬
第3回 令和2年6月8日: ビスホスホネート製剤	第14回 令和3年12月6日: Ca拮抗薬
第4回 令和2年7月20日: スタチン製剤	第15回 令和4年2月14日: 免疫グロブリン製剤
第5回 令和2年9月11日: 抗インフルエンザ薬	第16回 令和4年4月11日: 神経障害性疼痛治療薬
第6回 令和2年10月29日: DPP-4阻害剤	第17回 令和4年6月13日: 高尿酸血症治療薬
第7回 令和2年12月1日: 睡眠剤	第18回 令和4年9月12日: 便秘症治療薬
第8回 令和3年1月27日: ACE阻害剤	第19回 令和4年12月12日: 高カリウム血症治療薬
第9回 令和3年2月22日: ARB	第20回 令和5年2月28日: プロトンポンプ阻害剤(2巡目)
第10回 令和3年4月12日: 抗真菌薬(深在性真菌症)	第21回 令和5年3月9日: HPVワクチン(2巡目)
第11回 令和3年6月11日: 内服抗生剤 (ペニシリン系薬・第一～三世代セフェム系薬)	第22回 令和5年6月1日: 抗がん剤制吐剤



1. プロトンポンプ阻害剤(PPI)

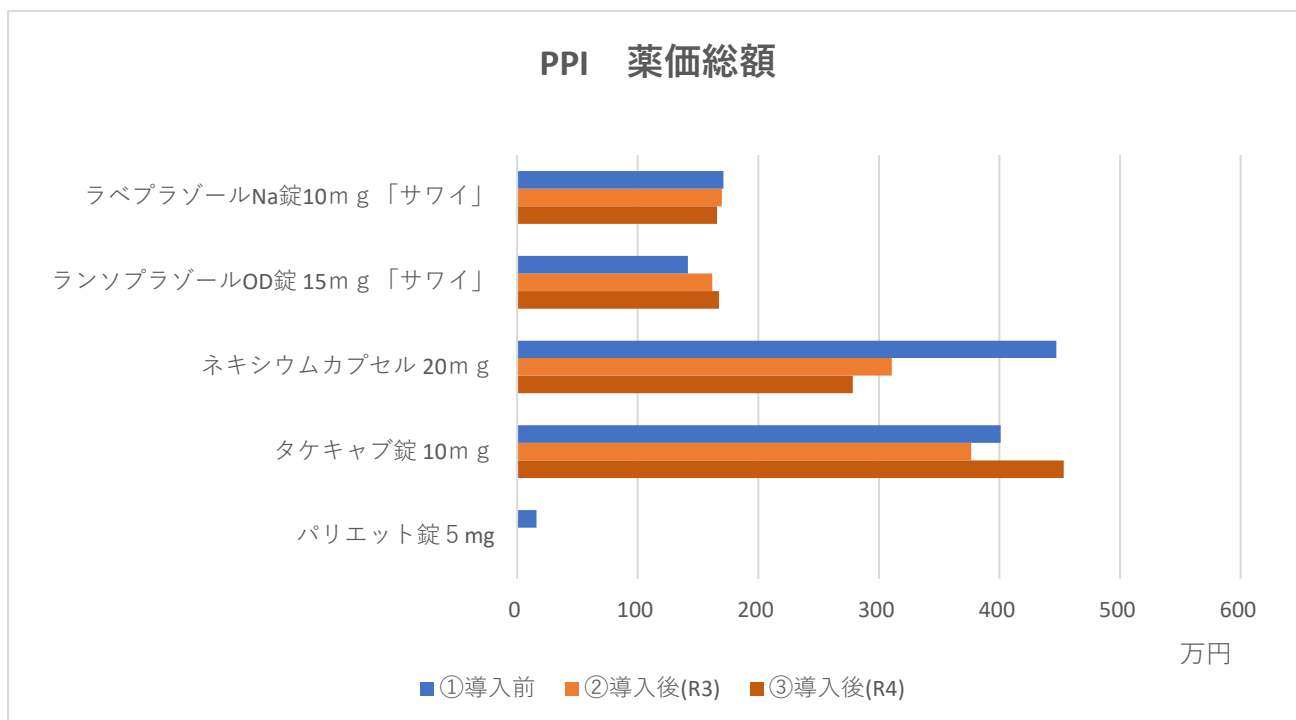
<当院でのフォーミュラ: 消化器領域>

プロトンポンプ阻害剤推奨薬(2巡目)リスト【令和5年2月第2版】

推奨薬	・軽症逆流性食道炎・ 十二指腸潰瘍の初期治療	ランソプラゾール OD 錠「サワイ」	15mg
		ラベプラゾール Na 錠「サワイ」	10mg
		エソメプラゾールカプセル「トーフ」	20mg
	・小児	エソメプラゾールカプセル「トーフ」	20mg
	・逆流性食道炎の PPI 無効例もしくは重症 逆流性食道炎の初期治療 ・十二指腸潰瘍の重症例と 急性期 治療 ・ヘリコバクターピロリ除菌の一次治療	タケキャブ錠	10mg

PPI	薬価	①R2.3-5 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
ラベプラゾールNa錠10mg「サワイ」	34.4	49,713.0 錠	1,710,127.2	49,327.0 錠	1,696,848.8	48,178 錠	1,657,323
ランソプラゾールOD錠15mg「サワイ」	16.4	86,298.0 錠	1,415,287.2	98,729.0 錠	1,619,155.6	102,129 錠	1,674,916
ネキシウムカプセル20mg	100	44,717.0 cap	4,471,700.0	31,063.3 cap	3,106,325.0	27,826 cap	2,782,550
タケキャブ錠10mg	105.3	38,090.0 錠	4,010,877.0	35,754.0 錠	3,764,896.2	43,046 錠	4,532,744
パリエット錠5mg	35.7	4,490.0 錠	160,293.0		0.0		0
			11,768,284.4		10,187,225.6		10,647,533

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
1,581,058.8	-460,307.0
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
6,324,235.2	-1,841,228.0



フォーミュラリ導入前と導入後(R3)の比較では、薬剤費が年間差額に換算すると**6,324,235.2 円の減少**となっていました。しかし、導入後(R3)と導入後(R4)の比較ではネキシウムカプセル 20mg の処方量は約 10%減少しましたが、タケキャブ錠 10mg の処方量は約 20%増加したため、薬剤費が年間差額に換算すると**1,841,228 円の増加**となりました。

注：R4.3 からネキシウムカプセル 20mg は後発品のエソメプラゾールカプセル 20mg に切り替わっています。

また、フォーミュラリ検討小委員会(第 20 回)で PPI(2 巡目)の検討が行われ、R5.3 よりネキシウムカプセル 20mg から後発品のエソメプラゾールカプセル 20mg への切り替えと、薬効から PPI と P-CAB の 2 つに分類され、タケキャブ錠 10mg と他 3 薬剤で異なる位置づけが決定されました。



2. ビスホスホネート製剤

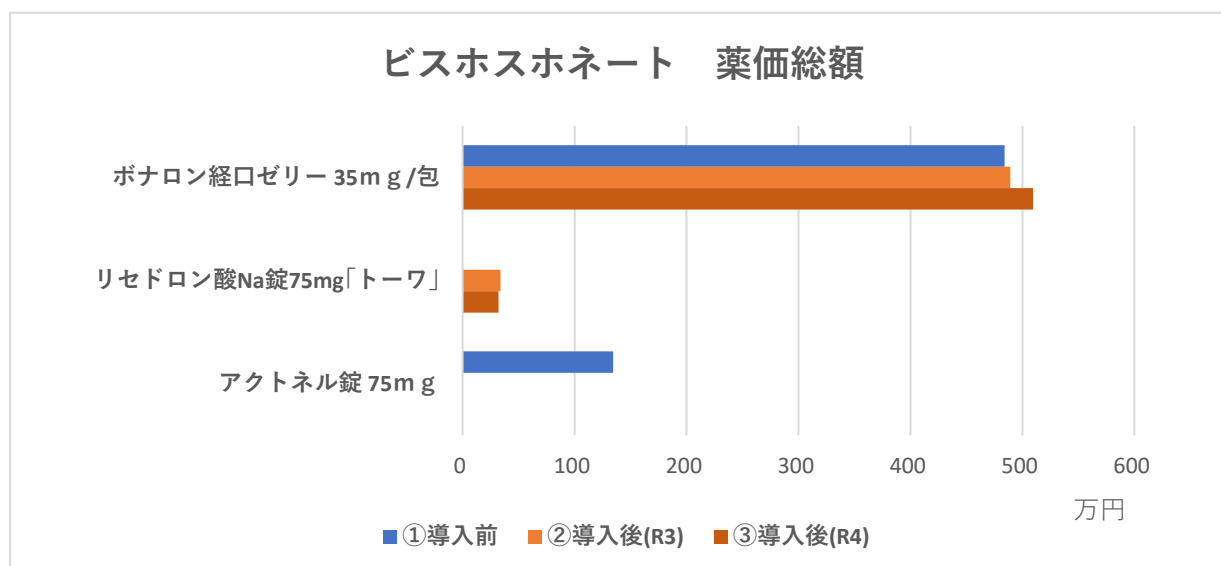
<当院でのフォーミュラリ: 整形外科領域>

BP 製剤推奨薬リスト【令和2年6月第1版】

推奨薬	内服薬	ボナロン経口ゼリー（週1回製剤）	35mg
		リセドロン酸Na錠「トーフ」（月1回製剤）	75mg
	注射薬	リクラスト点滴静注液（年1回製剤）	5mg

ビスホスホネート	薬価	①R2.7-9 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
ボナロン経口ゼリー 35mg/包	803	6,026 包	4,840,686	6,091 包	4,892,900	6,344 包	5,096,135
リセドロン酸Na錠75mg「トーフ」	477		0	709 錠	338,122	671 錠	320,000
アクトネル錠 75mg	1,758	765 錠	1,345,176		0		0
			6,185,862		5,231,022		5,416,135

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
954,839.4	-185,112.7
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
3,819,357.6	-740,450.8



フォーミュラリ導入前と導入後(R3)の比較では薬剤費が年間差額に換算すると **3,819,357.6 円の減少**となりました。導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、ボナロン経口ゼリー35mg の使用量が若干増加し、薬剤費が年間差額に換算すると **740,450.8 円の増加**となりました。

3. スタチン系製剤



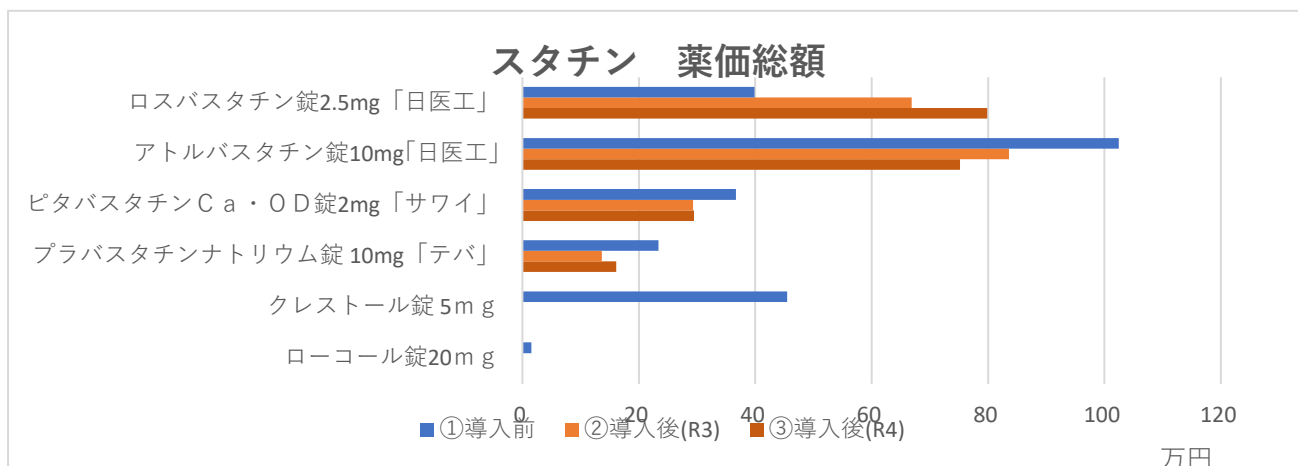
<当院でのフォーミュラリ:循環器科領域>

スタチン推奨薬リスト【令和2年7月第1版】

第一推奨薬	ロスバスタチン OD 錠「日医工」	2.5mg
第二推奨薬	アトルバスタチン錠「日医工」	10mg
	ピタバスタチン Ca・OD 錠「サワイ」	2mg
	プラバスタチンナトリウム錠「テバ」	10mg

スタチン系	薬価	①R2.7-9 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
ロスバスタチン錠2.5mg「日医工」	8.6	46,395.0 錠	398,997.0	77,776.0 錠	668,873.6	92,837.0 錠	798,398.2
アトルバスタチン錠10mg「日医工」	14.8	69,234.5 錠	1,024,670.6	56,471.0 錠	835,770.8	50,782.5 錠	751,581.0
ピタバスタチンCa・OD錠2mg「サワイ」	22.6	16,243.0 錠	367,091.8	12,979.0 錠	293,325.4	13,034.0 錠	294,568.4
プラバスタチンナトリウム錠10mg「テバ」	19.3	12,117.5 錠	233,867.8	7,075.5 錠	136,557.2	8,356.0 錠	161,270.8
クレステール錠5mg	57.7	7,880.0 錠	454,676.0		0.0		0.0
ローコール錠20mg	44.7	345.0 錠	15,421.5		0.0		0.0
			2,494,724.7		1,934,527.0		2,005,818.4

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
560,197.7	-71,291.5
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
2,240,790.8	-285,165.8



フォーミュラリ導入前と導入後(R3)の比較では薬剤費が年間差額に換算すると **2,240,790.8 円** の減少となりました。導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、アトルバスタチンの使用量は約10%減少し、ロスバスタチンの使用量は約20%増加しました。プラバスタチンナトリウム錠10mg「テバ」の使用量も約18%の増加を示したため、薬剤費が年間差額に換算すると **285,165.8 円** の増加となりました。薬剤費としては増加していますが、フォーミュラリの推進が図られていると考えられます。



4. 眠剤

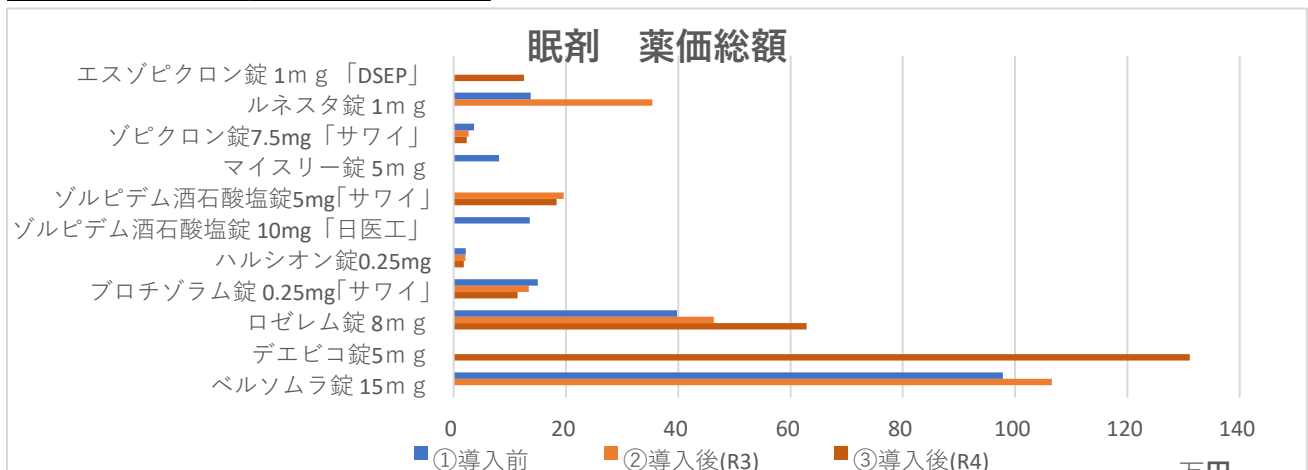
<当院でのフォーミュラリ: 精神・神経領域>

睡眠剤推奨薬リスト【令和2年12月第1版】

推奨薬	エスゾピクロン錠「日新」	1mg
-----	--------------	-----

眠剤	薬価	①R2.11-R3.1 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
エスゾピクロン錠 1mg 「DSEP」	13.3		0.0		0.0	9,410.0 錠	125,153
ルネスタ錠 1mg	39.4	3,490.0 錠	137,506.0	8,977.5 錠	353,713.5	錠	0
ゾピクロン錠7.5mg 「サワイ」	6.5	5,575.5 錠	36,240.8	4,142.5 錠	26,926.3	3,540.0 錠	23,010
マイスリー錠 5mg	27.3	2,963.0 錠	80,889.9		0.0		0
ゾルピデム酒石酸塩錠5mg「サワイ」	10.1		0.0	19,393.0 錠	195,869.3	18,153.0 錠	183,345
ゾルピデム酒石酸塩錠 10mg 「日医工」	10.9	12,446.0 錠	135,661.4		0.0		0
ハルシオン錠0.25mg	10.7	1,996.0 錠	21,357.2	1,980.0 錠	21,186.0	1,694.0 錠	18,126
プロチゾラム錠 0.25mg「サワイ」	10.1	14,821.5 錠	149,697.2	13,254.5 錠	133,870.5	11,282.0 錠	113,948
ロゼレム錠 8mg	85.9	4,628.9 錠	397,618.2	5,392.0 錠	463,172.8	7,318.8 錠	628,681
デエビゴ錠5mg	87.9		0.0	錠	0.0	14,915.0 錠	1,311,029
ベルソムラ錠 15mg	90.8	10,776.0 錠	978,460.8	11,733.0 錠	1,065,356.4	錠	0
			1,937,431.4		2,260,094.7		2,403,291

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
-322,663.3	-143,196.7
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
-1,290,653.1	-572,786.9



フォーミュラリ導入前と導入後(R3)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **1,290,653.3 円** の増加となりました。ルネスタ錠 1mg が R3.10 で後発品のエスゾピクロン錠 1mg「DSEP」へ採用が切り替わったものの、導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **572,786.9 円** の増加となりました。年々、ロゼレム錠 8mg とオレキシン受容体拮抗薬(ベルソムラ錠 15mg およびデエビゴ錠 5mg)の使用量が増加していることが大きな要因と考えられます。

注: R4.10 からは後発品のラメルテオン錠 8mg「武田テバ」へ切り替わっています。



5. ACE 阻害薬

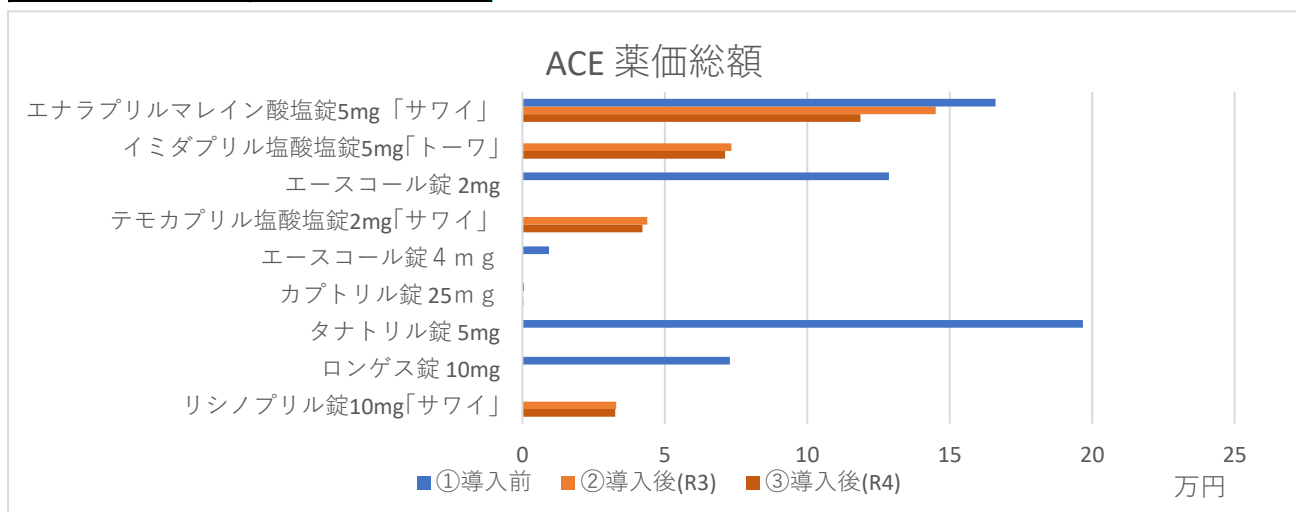
<当院でのフォーミュラ: 循環器科領域>

ACE 阻害剤推奨薬リスト【令和3年1月第1版】

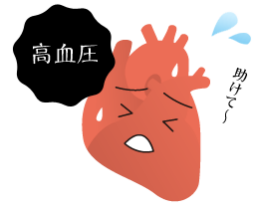
第一推奨薬	エナラプリルマレイン酸塩錠「サワイ」	5mg
第二推奨薬	イミダプリル塩酸塩錠「トーフ」	5mg

ACE	薬価	①R3.1-3 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
エナラプリルマレイン酸塩錠5mg「サワイ」	10.1	16,441.0 錠	166,054.1	14,358.7 錠	145,022.9	11,747.1 錠	118,646
イミダプリル塩酸塩錠5mg「トーフ」	18.6		0.0	3,945.0 錠	73,377.0	3,825.5 錠	71,154
エースコール錠 2mg	48.2	2,668.8 錠	128,636.2		0.0		0
テモカプリル塩酸塩錠2mg「サワイ」	21.4		0.0	2,050.0 錠	43,870.0	1,969.0 錠	42,137
エースコール錠 4mg	95.6	98.0 錠	9,368.8		0.0		0
カプトリル錠 25mg	12.4	42.0 錠	520.8	10.0 錠	124.0	26.0 錠	322
タナトリル錠 5mg	42.0	4,685.5 錠	196,791.0		0.0		0
ロンゲス錠 10mg	24.5	2,971.5 錠	72,801.8		0.0		0
リシノプリル錠10mg「サワイ」	14.1		0.0	2,332.0 錠	32,881.2	2,307.5 錠	32,536
			574,172.6		295,275.1		264,795

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
278,897.5	30,480.3
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
1,115,590.2	121,921.2



フォーミュラ導入前と導入後(R3)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **1,115,590.2 円の減少**となりました。導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **121,921.2 円の減少**となりました。



6. ARB 阻害剤

<当院でのフォーミュラ: 循環器科領域>

ARB 推奨薬リスト【令和3年2月第1版】

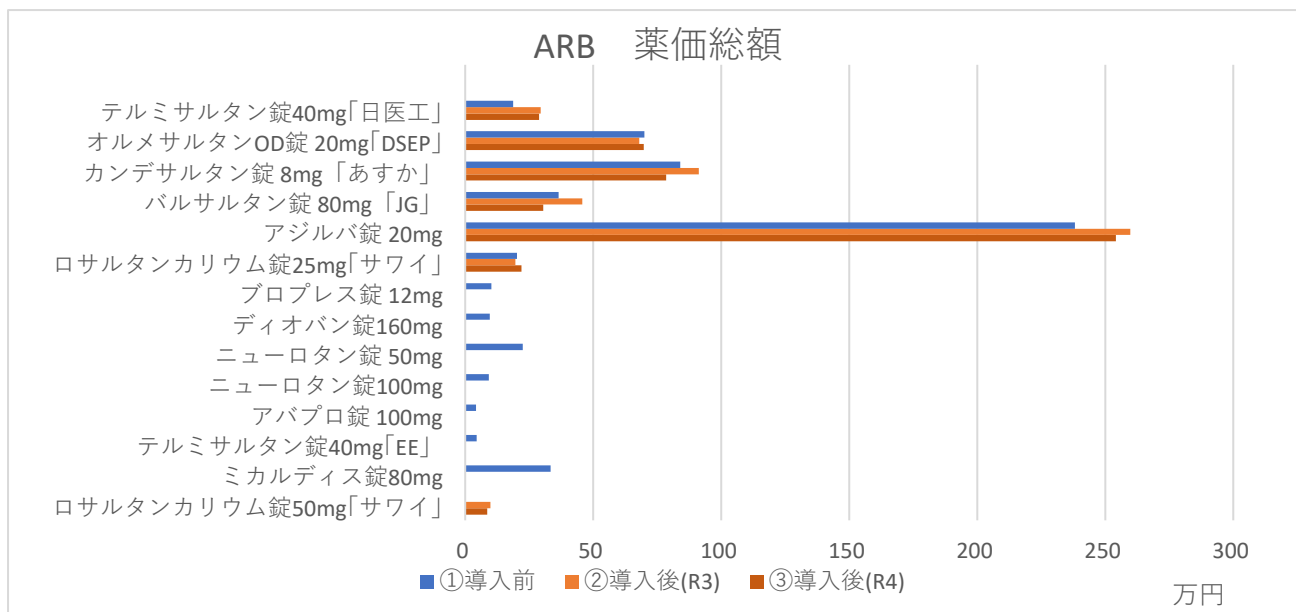
第一推奨薬	テルミサルタン錠「日医工」	40mg
	オルメサルタンOD錠「DSEP」	20mg
	カンデサルタン錠「あすか」	8mg
第二推奨薬	バルサルタン錠「JG」	80mg

【条件付き推奨薬】

他剤効果不十分な場合	アジルバ錠	20mg
腎保護作用が必要な場合	ロサルタンカリウム錠「サワイ」	25mg

ARB	薬価	①R2.11-R3.1 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
テルミサルタン錠40mg「日医工」	11.1	16,926.0 錠	187,878.6	26,545.0 錠	294,649.5	26,038.5 錠	289,027
オルメサルタンOD錠 20mg「DSEP」	26.0	26,910.5 錠	699,673.0	26,148.5 錠	679,861.0	26,845.0 錠	697,970
カンデサルタン錠 8mg 「あすか」	39.7	21,165.8 錠	840,282.3	22,991.0 錠	912,742.7	19,781.8 錠	785,335
バルサルタン錠 80mg 「JG」	18.2	20,045.5 錠	364,828.1	25,111.8 錠	457,034.8	16,752.3 錠	304,891
アジルバ錠 20mg	140.2	16,987.0 錠	2,381,577.4	18,532.5 錠	2,598,256.5	18,128.0 錠	2,541,546
ロサルタンカリウム錠25mg「サワイ」	13.4	15,060.0 錠	201,804.0	14,677.5 錠	196,678.5	16,415.5 錠	219,968
プロプレス錠 12mg	100.9	1,016.0 錠	102,514.4		0.0		0
ディオバン錠160mg	66.0	1,452.0 錠	95,832.0		0.0		0
ニューロタン錠 50mg	81.4	2,756.0 錠	224,338.4		0.0		0
ニューロタン錠100mg	115.2	798.0 錠	91,929.6		0.0		0
アパプロ錠 100mg	76.0	553.0 錠	42,028.0		0.0		0
テルミサルタン錠40mg「EE」	11.1	4,082.5 錠	45,315.8		0.0		0
ミカルディス錠80mg	108.9	3,067.0 錠	333,996.3		0.0		0
ロサルタンカリウム錠50mg「サワイ」	26.1		0.0	3,792.5 錠	98,984.3	3,302.5 錠	86,195
			5,611,997.8		5,238,207.2		4,924,932

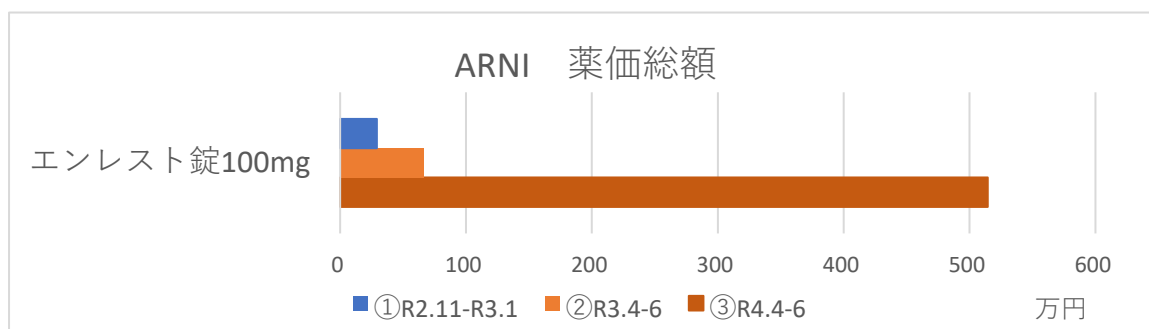
3か月差額(①-②)		3か月差額(②-③)	
373,790.6		313,274.9	
年間差額(①-②)		年間差額(②-③)	
1,495,162.4		1,253,099.5	



フォーミュラ導入前と導入後(R3)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **1,495,162.4 円の減少**となりました。導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **1,253,099.5 円の減少**となりました。アジルバ錠 20mg は ARB の中で使用量としては多くありませんが、先発品で薬価が高いため薬剤費で占める割合が多いと考えられます。

補足として、ACE 阻害薬と ARB は全体的に使用量が減少傾向となっていますが、年々心不全の治療薬としてエンレスト錠 100mg の使用量が急激に増加しています。

ARNI	薬価	①R2.11-R3.1 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
エンレスト錠100mg	114.4	2,550.3 錠	291,748.6	5,780.5 錠	661,289.2	44,964.5 錠	5,143,939



3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
-369,540.6	-4,482,649.6
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
-1,478,162.4	-17,930,598.4

R3とR4の比較では、エンレスト錠 100mg の薬剤費は年間差額に換算すると **17,930,598.4 円の増加**となりました。



7. DPP-4 阻害薬

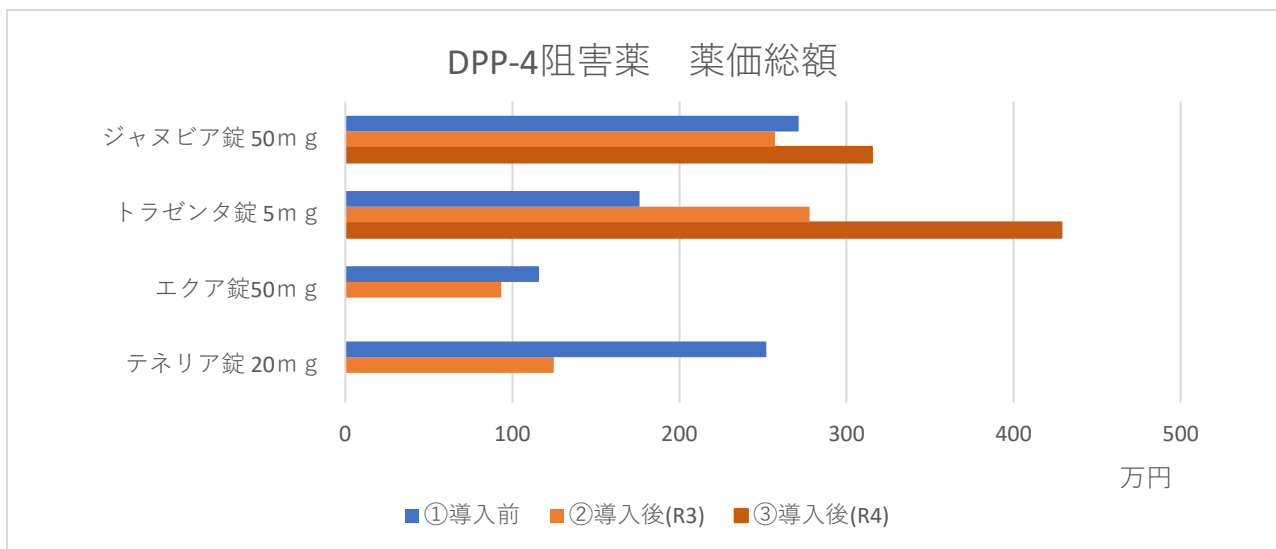
<当院でのフォーミュラリ: 糖尿病領域>

DPP-4 阻害剤推奨薬リスト【令和2年10月第1版】

推奨薬	ジャヌビア錠	50mg
腎機能障害患者	トラゼンタ錠	5mg

DPP-4阻害薬	薬価	①R2.11-R3.1 単位	薬価総額	②R3.4-6 単位	薬価総額	③R4.4-6 単位	薬価総額
ジャヌビア錠 50mg	118.1	22,980.8 錠	2,714,026.6	21,775.8 錠	2,571,716.1	26,691.5 錠	3,152,266
トラゼンタ錠 5mg	131.8	13,368.5 錠	1,761,968.3	21,080.5 錠	2,778,409.9	32,531.0 錠	4,287,586
エクア錠50mg	65.5	17,693.0 錠	1,158,891.5	14,241.5 錠	932,818.3	錠	0
テネリア錠 20mg	124.2	20,292.0 錠	2,520,266.4	10,046.0 錠	1,247,713.2	錠	0
			8,155,152.8		7,530,657.4		7,439,852

3か月差額(①-②)	3か月差額(②-③)
624,495.4	90,805.5
年間差額(①-②)	年間差額(②-③)
2,497,981.4	363,221.9



フォーミュラリ導入前と導入後(R3)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると**2,497,981.4円**の減少となりました。導入後(R3)と導入後(R4)の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると**363,221.9円**の減少となりました。

注: R3.6 より、エクア錠 50mg とテネリア錠 20mg は採用が削除となっています。



8. 抗ヒスタミン薬

〈当院でのフォーミュラ: 皮膚科・耳鼻いんこう科・小児科領域〉

抗ヒスタミン薬推奨薬リスト【令和3年10月第1版】

小児		
推奨薬	アレジオンドライシロップ 1%	10mg/g
	レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05%「サワイ」	0.5mg/mL
	アレグラドライシロップ 5%	50mg/g
	クラリチンドライシロップ 1%	10mg/g
成人		
第一推奨薬	オロパタジン塩酸塩錠「サワイ」	5mg
	フェキソフェナジン錠「サワイ」	60mg
	レボセチリジン塩酸塩錠「武田テバ」	5mg
第二推奨薬	ビラノア錠	20mg
	ルパフィン錠	10mg

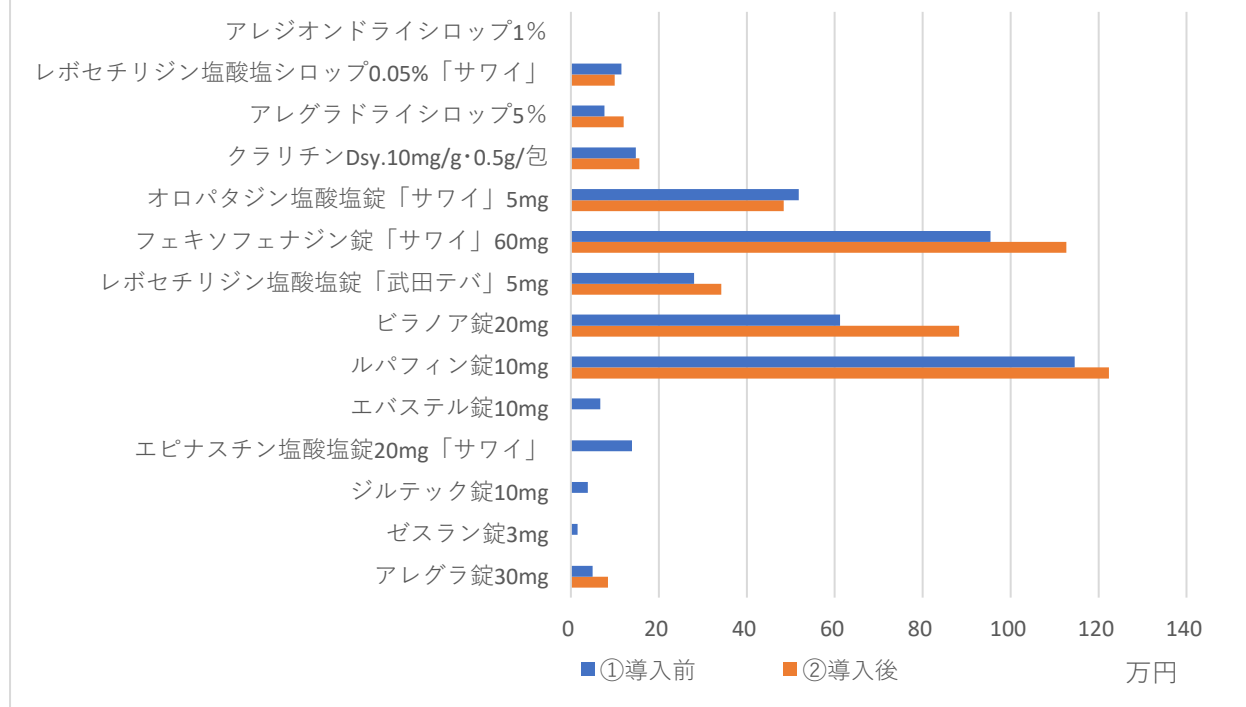
抗ヒスタミン薬	薬価	①R3.10-12 単位	薬価総額	②R4.4-6 単位	薬価総額
アレジオンドライシロップ1%	43.8		0.0		0.0
レボセチリジン塩酸塩シロップ0.05%「サワイ」	6.7	17,167.5 ml	115,022.3	14,862.5 ml	99,578.8
アレグラドライシロップ5%	88.2	866.4 g	76,416.5	1,362.0 g	120,128.4
クラリチンDsy.10mg/g・0.5g/包	67.7	2,178.0 包	147,450.6	2,299.0 包	155,642.3
オロパタジン塩酸塩錠「サワイ」5mg	10.5	49,386.5 錠	518,558.3	46,103.5 錠	484,086.8
フェキソフェナジン錠「サワイ」60mg	13.6	70,165.0 錠	954,244.0	82,865.5 錠	1,126,970.8
レボセチリジン塩酸塩錠「武田テバ」5mg	22.3	12,550.8 錠	279,881.7	15,346.5 錠	342,227.0
ビラノア錠20mg	61.9	9,889.0 錠	612,129.1	14,270.0 錠	883,313.0
ルパフィン錠10mg	54.9	20,874.0 錠	1,145,982.6	22,282.5 錠	1,223,309.3
エバステル錠10mg	64.2	1,041.5 錠	66,864.3	錠	0.0
エピナスチン塩酸塩錠20mg「サワイ」	24.1	5,757.7 錠	138,760.6	錠	0.0
ジルテック錠10mg	38.8	998.0 錠	38,722.4	錠	0.0
ゼスラン錠3mg	8.4	1,791.3 錠	15,047.2	錠	0.0
アレグラ錠30mg	32.7	1,518.0 錠	49,638.6	2,590.0 錠	84,693.0
			4,158,718.1		4,519,949.2

3か月差額(①-②) 年間差額(①-②)

-361,231.1

-1,444,924.5

抗ヒスタミン薬 薬価総額



抗ヒスタミン薬のうち、小児の推奨薬である、アレジオンドライシロップ 1%、レボセチリジン塩酸塩シロップ 0.05%「サワイ」、アレグラドライシロップ 5%、クラリチン Dsy.10mg/g・0.5g/包の処方量には大きな変動はありませんでした。一方で成人の第一推奨薬であるフェキソフェナジン錠「サワイ」60mgと第二推奨薬であるビラノア錠 20mg の処方量は大きく増加し、特にビラノア錠 20mg の処方量は 40%超の増加で先発品であるため薬剤費増加の一要因となりました。フォーミュラリ導入前と導入後の全体の比較では、薬剤費は年間差額に換算すると **1,444,924.5 円**の増加となりました。

9. Ca拮抗薬



<当院でのフォーミュラリ:循環器領域>

Ca拮抗薬(ジヒドロピリジン系)リスト【令和3年12月第1版】

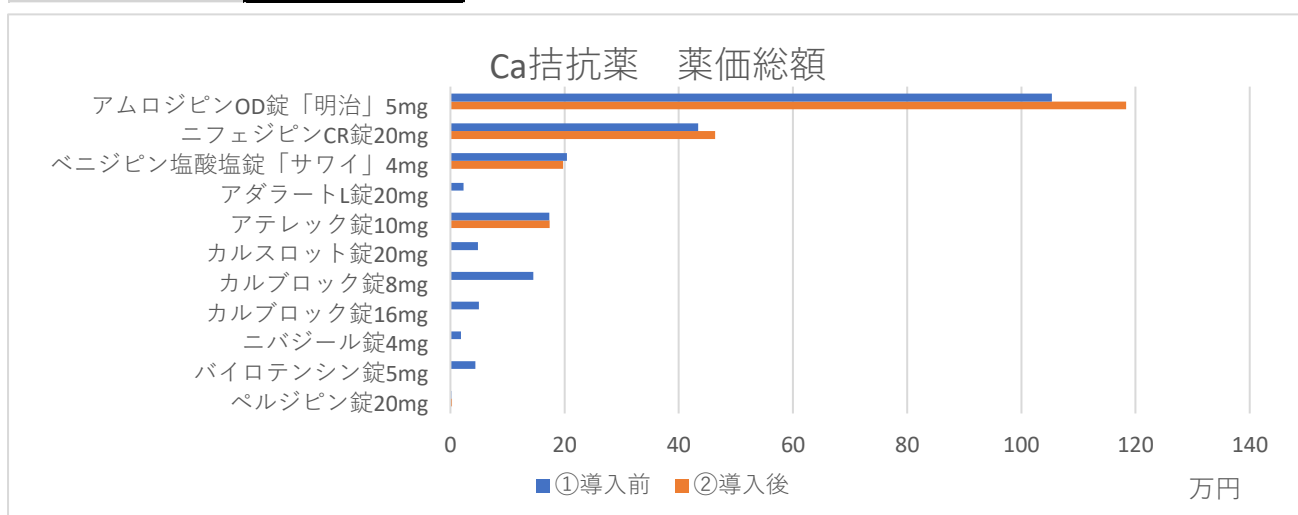
第一推奨薬	アムロジピンOD錠「明治」	5mg
第二推奨薬	ニフェジピンCR錠「サワイ」	20mg
	ベニジピン塩酸塩錠「サワイ」	4mg

Ca拮抗薬	薬価	②R3.10-12.総件数	単位	薬価総額	③R4.4-6.総件数	単位	薬価総額
アムロジピンOD錠「明治」5mg	10.8	97,521.5	錠	1,053,232.2	109,578.5	錠	1,183,448
ニフェジピンCR錠20mg	8.1	53,540.0	錠	433,674.0	57,251.0	錠	463,733
ベニジピン塩酸塩錠「サワイ」4mg	12.5	16,310.5	錠	203,881.3	15,764.0	錠	197,050
アダラートL錠20mg	13.3	1,724.0	錠	22,929.2		錠	0
アテレック錠10mg	35.2	4,923.5	錠	173,307.2	4,944.5	錠	174,046
カルスロット錠20mg	36	1,343.5	錠	48,366.0		錠	0
カルブロック錠8mg	21.4	6,776.0	錠	145,006.4		錠	0
カルブロック錠16mg	39	1,280.0	錠	49,920.0		錠	0
ニバジール錠4mg	21.1	886.0	錠	18,694.6		錠	0
バイロテンシン錠5mg	19.6	2,228.0	錠	43,668.8		錠	0
ペルジピン錠20mg	11.2	140.0	錠	1,568.0	224.0	錠	2,509
				2,194,247.7			2,020,786

3か月差額(②-③) 年間差額(②-③)

173,461.6

693,846.2



フォーミュラリ導入前と導入後の全体の比較では、アムロジピン OD 錠「明治」5mg とニフェジピン CR 錠 20mg の使用量が増加しましたが、R4.2 からは、薬価の高い先発品(カルスロット錠 20mg、カルブロック錠 8mg、カルブロック錠 16mg、ニバジール錠 4mg、バイロテンシン錠 5mg) 5 薬剤の採用が削除となったため、薬剤費は年間差額に換算すると **693,846.2 円**の減少となりました。

10. 神経障害性疼痛治療薬



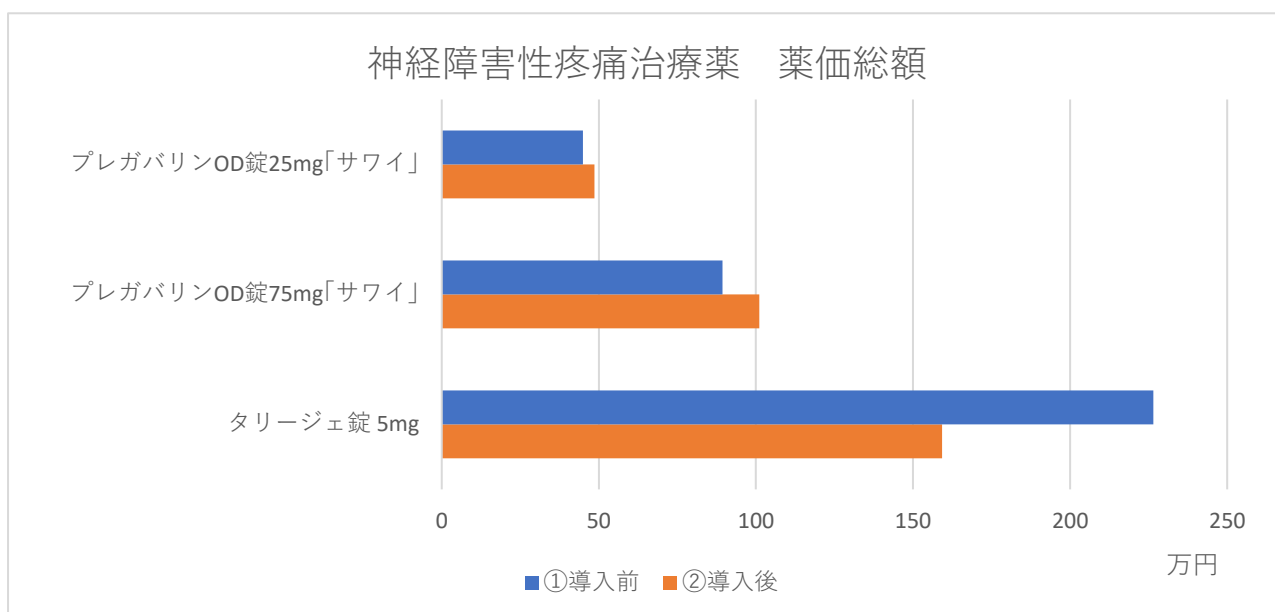
<当院でのフォーミュラリ: 整形外科・皮膚科・血管外科領域>

神経障害性疼痛治療薬リスト【令和4年4月第1版】

推奨薬	プレガバリンOD錠「サワイ」	25mg・75mg
-----	----------------	-----------

神経障害性疼痛治療薬	薬価	①R4.2-4	単位	薬価総額	②R4.10-12	単位	薬価総額
プレガバリンOD錠25mg「サワイ」	17.6	25,559.0	錠	449,838.4	27,621.0	錠	486,130
プレガバリンOD錠75mg「サワイ」	28.9	30,905.0	錠	893,154.5	34,991.0	錠	1,011,240
タリージェ錠 5mg	100.4	22,562.5	錠	2,265,275.0	15,865.0	錠	1,592,846
				3,608,267.9			3,090,216

3か月差額(①-②)	年間差額(①-②)
518,052.4	2,072,209.6



フォーミュラリ導入前と導入後の全体の比較では、タリージェ錠 5mg の使用量が約 30%と大きな減少を示し、薬剤費は年間差額に換算すると **2,072,209.6 円** の減少となりました。



11. 高尿酸血症治療薬

<当院でのフォーミュラ: 循環器内科・腎臓内科・血液内科領域>

高尿酸血症治療薬リスト【令和4年6月第1版】

尿酸生成阻害薬		
第一推奨薬	フェブキソスタット錠「トーワ」(注1)	20mg
第二推奨薬	アロプリノール錠「サワイ」(注2)	100mg

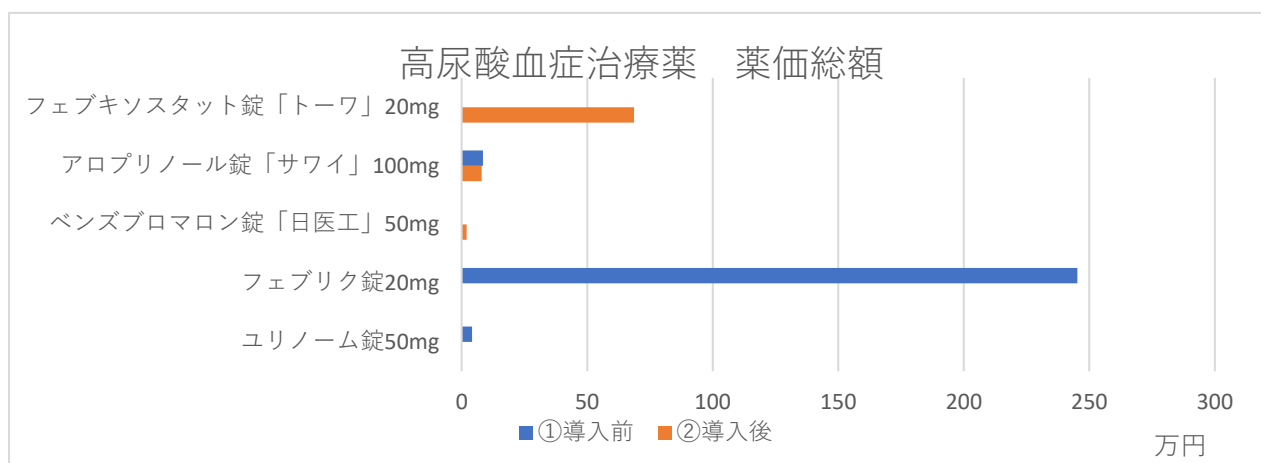
(注1) 心血管障害の患者に注意

(注2) 腎機能障害の患者に注意

尿酸排泄促進薬		
第一推奨薬	ベンズプロマロン錠「日医工」	50mg

高尿酸血症治療薬	薬価	①R4.4-6	単位	薬価総額	②R4.10-12	単位	薬価総額
フェブキソスタット錠「トーワ」20mg	13.9		錠	0.0	49,429.5	錠	687,070
アロプリノール錠「サワイ」100mg	7.8	10,913.5	錠	85,125.3	10,158.5	錠	79,236
ベンズプロマロン錠「日医工」50mg	5.9		錠	0.0	3,426.5	錠	20,216
フェブリク錠20mg	49.5	49,554.5	錠	2,452,947.8		錠	0
ユリノーム錠50mg	14	2,959.0	錠	41,426.0		錠	0
				2,579,499.1			786,523

3か月差額(①-②)	年間差額(①-②)
1,792,976.4	7,171,905.4



フォーミュラ導入前と導入後の全体の比較では、処方量に大きな変化はありませんでしたが、フェブリク錠 20mg が後発品のフェブキソスタット錠「トーワ」20mg に切り替わったため、薬剤費は年間差額に換算すると **7,171,905.4 円**の減少となりました。

【おわりに】

フォーミュラリは、患者のための合理的で経済的な薬物治療を目指すためのものであり、医師の処方制限するものではありません。引き続き推奨薬の使用促進にご協力をお願いいたします。

順次、同種同効薬の検討が行われていきますので、定期的にフォーミュラリの成果について報告させていただきます。

